著者と読む 教養研究センター選書

―選書刊行記念企画―

第1回

理性という狂気 ―― G・バタイユから現代世界の倫理へ

石川 学

「教養研究センター選書」とは：教養研究センター所員が独創的な論考を平易なスタイルで紹介する、個性ある魅力的なシリーズです。諸国の文学、言語、哲学、芸術表現、社会学など、様々な学部に所属する所員の多様な関心を反映して、多彩なテーマで刊行されています。

「著者と読む教養研究センター選書」とは：このたび教養研究センターは「教養研究センター選書」をより広く知ってもらうことを目的として、「著者と読む教養研究センター選書」という企画を始めます。第1回は、今年刊行されたばかりの『理性という狂気 ―― G・バタイユから現代世界の倫理へ』（慶應義塾大学出版会）をめぐって開催されます。著者である石川学氏、石川氏と同じくフランス思想を専門とする渡名喜庸哲氏および荒金直人氏が登壇し、各自からのコメント、3人によるディスカッションおよび参加者との質疑応答を行う予定です。

『理性という狂気 ―― G・バタイユから現代世界の倫理へ』：ジョルジュ・バタイユというもはや古典的とも言える思想家の生涯と思想を丁寧に読み解いたすぐれた研究で、ともすればバタイユをエキセントリックだと決めつけがちな読者の目から鱗を取ってくれるような論考です。文章は端正かつ明晰で、難解なバタイユの思想を解説する筆致は繊細です。人間の理性に対するバタイユの批判を今日的かつ未来をも志向する文脈において論じた、古典を読むことの意味を実践的に示した著作でもあります。本書を世界中が閉塞感に覆われた現在の状況下で読み込むことは、私たちにとって貴重な経験となり、かつ、本書の意義にかなう行為ともなるでしょう。

11/2 Mon
16:30 ～ 18:00

日時：2020 年 11 月 2 日（月）16:30 ～ 18:00

＜登壇者＞ 石川　学（慶應義塾大学商学部　専任講師）
渡名喜　庸哲（立教大学文学部　准教授、慶應義塾大学商学部　非常勤講師）
荒金　直人（慶應義塾大学理工学部　准教授）
＜司会＞ 瀧本　佳容子（慶應義塾大学商学部　教授）

■参加形式　★要事前申込み★
①対面参加（40 名まで）
@日吉キャンパス来往舎 1 階シンポジウムスペース
対象：塾生・慶應義塾 教職員
②オンライン参加（Zoom） 対象：どなたでも可

＜申込み＞
https://bit.ly/33ghhg4
※対面でもオンラインでも事前申込みをお願いします。

■主催・お問合せ
慶應義塾大学教養研究センター　toiawase-lib@adst.keio.ac.jp
http://lib-arts.hc.keio.ac.jp/